

✠005 民衆の聖書となる現代語への翻訳

中世の後半、ラテン語は一部の聖職者や学者だけが読める特権的な言語となり、ラテン語聖書は民衆のものでなくなりました。これを一般民衆が読むことができる言語に翻訳して聖書を民衆に解放しようとした人々がいた。

聖書の英語訳を最初に行ったのはジョン・ウィックリフである。これはラテン語からの翻訳で 1382 年に完成した。また原典から最初に英語に翻訳したのはウィリアム・ティンダルで、1525 年に新約聖書を出版した。英語印刷聖書の最初のものである。ティンダルの後継者であり、旧新約聖書の英語訳を完成させたのはカヴァーデルであった。(1535 年)

イギリスの宗教改革の迫害から逃れてジュネーブに渡った学者たちによって翻訳された「ジュネーブ聖書」は 1560 年に出版された。英語の聖書で初めて節の区分の数字が入ったものである。

マルティン・ルターは聖職者や神学者だけが読めるラテン語聖書でなく、ドイツ民衆が読むことができるドイツ語聖書を原典から翻訳した。ワルトブルク城内で保護されている間に翻訳に従事し、1522 年 9 月に新約聖書「九月聖書」を発行した。旧約と続編は 1534 年に出版された。

14、15 世紀南ドイツやオーストリアで民衆の教育のために「貧者の聖書」と呼ばれる絵解き聖書が作られている。清貧の修道士が一般信徒のために作ったというのが名の由来だといわれる。

英国王ジェームス 1 世は従来の英語聖書を改訂した新しい訳の聖書を作ることを要請し、54 人の学者によって翻訳されたのが「ジェームス王欽定訳」(キングジェームス訳)である。1611 年に出版されたが、今日に至るまで最も権威ある英語聖書としての評価を持ち続けている。その後 1885 年には「英国改訂訳」が、またアメリカでは 1901 年に「アメリカ標準訳」が出版された。標準訳聖書を改訂した「改訂標準訳」(RSV) が 1952 年に完成した。イギリスにおいては、1970 年に New English Bible が出版された。これは 1989 年に改訂され Revised English Bible として出版された。

今日現代人に親しみやすい聖書の翻訳が求められているが、この期待にこたえてアメリカ聖書協会から Good News Bible (TEV: Today's English Version) が 1976 年に、Contemporary English Version (CEV) が 1995 年に出版されている。

(参考：一般財団法人 日本聖書協会 聖書図書館)